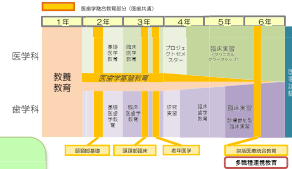


医学科・歯学科生 『ともに学び、ともに成長する』

- 医歯学基盤教育(2年～4年)
「Global Communication」、「臨床統計」、「生命倫理」
- 「頭頸部・基礎」(2年)
頭頸部領域解剖学、発生学、生理学等
- 「頭頸部・臨床」(3年)
頭頸部領域疾患・治療法
- 「老年医学」(3年)
高齢者の生理・病態変化
- 「包括医療統合教育」(6年)
臨床ケース合同学習、
多職種連携学習(全学科専攻による)

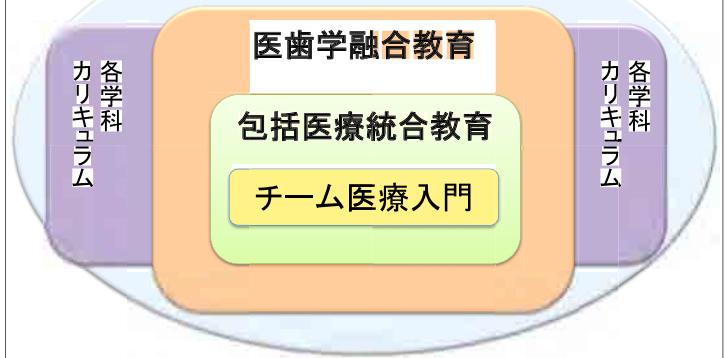


H25年12月5日東京医科歯科大学鶴田

19

医歯学融合教育における多職種連携教育

東京医科歯科大学 教育理念



H25年12月5日東京医科歯科大学鶴田

20

4. 包括医療統合教育「チーム医療入門」

- 医歯学融合教育の課程で学ぶ学生が受講するのは、平成28年度からとなる。
- 平成24年度より、各学科専攻の協力のもと、各学科専攻最終学年学生を対象に、包括医療統合教育の目的に従い、「チーム医療入門」を導入した。
- これまでに、平成23年度導入前トライアル、平成24年度第1回、平成25年度第2回の計3回と形式を変更しながら実施している。

H25年12月5日東京医科歯科大学鶴田

21

包括医療統合教育の教育目標

1. 医療現場で働く様々な職種の仕事内容・技術能力を理解し、互いに尊重・協調し、建設的な議論を行い、常に患者の立場に配慮した、最適なケアの提供のための資質および問題解決能力を養う。
2. 各専門職の学問的基盤をもとに、心理・社会学等の知識との統合をはかり、応用力を高める。
3. 全身医療と口腔医療の間の病態における関りの重要性、および専門職間の効果的な連携の必要性の理解を深める。

H25年12月5日東京医科歯科大学鶴田

22

4. 包括医療統合教育「チーム医療入門」

1. 医療現場で働く様々な職種の仕事内容・技術能力・視点を理解する。
2. 医療現場で働く様々な職種のメンバーを尊重する姿勢を有する。
3. 議論において必要な情報を共有し、協調し、また場合に応じてリーダーシップを発揮し、建設的な議論を促進できる。
4. 医学的/歯学的/看護学的/口腔保健衛生学的 / 社会医学的問題だけにとらわれず、常に全人的視点を 持ち、患者の立場に配慮した、最適なケアを提供するという視点を身につける。

H25年12月5日東京医科歯科大学鶴田

23

平成25年度取り組み

1. 参加学科専攻(5学科専攻)
医学科、保健衛生学科看護学専攻、保健衛生学科検査技術学専攻、歯学科、口腔保健学科口腔保健衛生学専攻
2. 参加人数
1日目 合計222名 (医76、看護54、歯60、口腔32)
2日目 合計171名 (医76、検査35、歯60)
3. シナリオ種別、班分け
1日目 頭頸部腫瘍・歯周病
(課題)「現在・今後予想される問題点を関連図を使ってまとめ、医療チームとしてどのように介入すべきか考える」
(班) 全32班(医2～3、歯1～2、看護1～2、口腔1～2)
2日目 乳がん・顎骨壊死
(課題)「課題:診断・治療のために必要な処置を検討してください」
(班) 全24班(医3～4、歯2～3、検査1～2)

H25年12月5日東京医科歯科大学鶴田

24

1日目 合計222名（医76、看護54、歯60、口腔32）

時間	内容	単位	場所	担当教員	
8:00-8:30	30分 当日打ち合わせ		MD2F共用講義室2	中川	
9:00-9:15	15分 はじめの言葉			田中	
9:15-9:20	5分 オリエンテーション	全体	鈴木章夫記念講堂	中川	
9:20-9:45	25分 取り組み説明ビデオ			中川	
9:45-10:00	15分 移動			山口	
10:00-10:10	10分 プレアンケート	個人			
10:10-10:20	10分 アイスブレイク	グループ	共用講義室2 組織学実習室 生理学実習室 大学院講義室	(司会) 鶴田 中川 桑名 山本	
10:20-11:40	80分 事例検討① 質問シート提出(11:00まで)				
11:40-12:00	20分 事例検討①の発表				各部屋
12:00-13:00	60分 昼食・休憩				
13:00-14:40	100分 事例検討②	グループ	共用講義室2 3号館2階講義室1 3号館3階講義室2 大学院講義室		
14:40-15:00	20分 プロダクト提出(司会がiPad miniで撮影)・移動・休憩				
15:00-15:40	40分 プロダクト発表 (発表5分・質疑応答4分×4グループ)	全体	鈴木章夫記念講堂	鶴田	
15:40-16:00	20分 シナリオ解説			山本 杉本	
16:00-16:50	50分 講演(チーム医療について)			三宅 坂下	
16:50-17:00	10分 課題の説明			山口	

2日目 合計171名（医76、検査35、歯60）

時間	内容	単位	場所	担当教員
12:00-12:30	30分 当日打ち合わせ		MD2F共用講義室2	中川
12:50-13:00	10分 本日の取り組み説明	各部屋	3号館2階講義室1 3号館3階講義室2	(司会) 桑名 山本
13:00-13:10	10分 アイスブレイク	グループ		
13:10-14:00	50分 事例検討① 質問シート提出(14:00まで)			
14:00-14:10	10分 事例検討①の発表	各部屋		
14:10-14:20	10分 休憩			
14:20-16:00	100分 事例検討②	グループ	3号館2階講義室1 3号館3階講義室2	
16:00-16:10	10分 プロダクト提出(司会がiPad miniで撮影)・移動・休憩			
16:10-16:30	20分 プロダクト発表 (発表5分・質疑応答4分×2グループ)	全体	鈴木章夫記念講堂	鶴田
16:30-16:50	20分 シナリオ解説			桑名
16:50-17:00	10分 課題の説明			中川

参加教員による当日打ち合わせ会



実施前オリエンテーション(ビデオ上映)



医歯学融合教育支援センター

多職種連携ビデオ(平成24年度制作) 17職種の紹介
例:ソーシャルワーカー



プロダクト例:1日目 頭頸部腫瘍・歯周病

